

氏名	RIOS PEREZ ROSANNA LISBETH (ロサナ リオス ペレズ)
学位の種類	博士 (芸術)
報告番号	甲第 36 号
学位授与の日付	2022 年 3 月 21 日
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1 項該当
学位論文題目	From Mingei to the Arts: An Inquiry into Samiro Yunoki's Expression through His Creative Works 民藝から芸術へ: 柚木沙弥郎の創作を通しての表現への一考察
論文審査委員	主査 教授 上野 真知子 副査 教授 斎藤 光 副査 教授 澤田 昌人 副査 准教授 鯖江 秀樹 副査 東京造形大学名誉教授 須藤 玲子

内容の要旨

芹沢の指導のもと、1948 年から民芸で活動を始め、当初は民芸のジャンルで多様な作品を展開していたテキスタイル・アーティストの柚木沙弥郎の作品を紹介します。彼は長年の経験と知識を蓄積した後、民芸から離れ、美術に分類される作品群を制作するようになりました。

民芸運動の指導者である柳宗悦は、民芸論の中で、民芸で作品を作る際には自己表現を無視すべきだと述べています。柳は、個性や独自の表現を封印し、生活に密着した工芸品を制作することで、庶民に奉仕し、日常生活に「用の美」を提供することをグループの職人たちに奨励しました。

柚木沙弥郎はやがて、柳の民芸の理念とは異なる表現に向かっていきました。本研究では、民芸から離れて現代の美術家となった柚木の人生と経歴の要因を明らかにすることを目的としています。その点に着目して作品を見直すことで、柚木の表現がどのように変化し、最終的にどのような表現になったのかを探っていきます。

作品に内在するプロセスを探り、幾つかの選択した作品を分析することで、型染めを用いた晩年の作品に代表される、柚木の独自の表現がどのようにして生まれたのかを明らかにします。

各章の大筋

第 1 章では、柚木の生いたちと、柳宗悦と芹沢銈介による民芸運動との最初のつながりについて簡単に説明します。その後、データベース分析から、柚木の制作を 3 つの主要な期間に分けて考えました。戦後・旅と版画・芸術とデザインです。後の 2 つの期間では、柚木が民芸の制作から離れた決定要因を紹介します。これらの各期間から、それぞれ 1 つの作品を選択し分析しました。各作品は、その形式的な特徴が柚木の表現をどのように展開させたかに基づいて選んでいます。

第 2 章では、柚木と師である芹沢の比較検討を行い、それぞれの想定される役割の違いにより、彼らが最終的に別々の方向性をとるようになったことを説明しています。次に、民芸運動から始まり、その後、両作家のキャリアの中で続いていった収集の行為を説明し、収集に関する彼らの非常に異なる視点を調べます。

第 3 章では、柚木の芸術への移行が、どのように彼の芸術言語を生み出したのか考察し、他の芸術家の影響や、そして現代の芸術家としての彼の作品世界を文脈化するための内省的思考を提供します。一つのセクションでは、柚木の創造的な追求と彼の表現力豊かな自己の形成において重要な、柚木が展開したドローイングを中心に述べています。さらに柚木の近年の型染め作品を取り上げて、技術的および芸術的観点から分析し、彼が展開してきた型染めについて考察します。

Abstract

The present inquiry looks into the work of Samiro Yunoki, a textile artist who began his career in *Mingei* in 1948 under the guidance of Keisuke Serizawa, initially developing a diverse volume of work in the folk crafts genre. However, after accumulating years of experience and knowledge, Yunoki moved away from Mingei and began creating a corpus of work categorizable as art. Soetsu Yanagi, the leader of the Mingei movement, states in his theoretical writings on Mingei that self-expression should be ignored when creating folk crafts; he encouraged artisans within the group to shut down any trace of individuality or unique expression and to instead create work that would service common people and provide them with "useful beauty" through crafts that they could use in their everyday life.

Samiro Yunoki eventually moved towards an artistic expression that did not align with Yanagi's Mingei ideals. The present research project aims to clarify the factors in Yunoki's life and career that made him drift away from Mingei and become a modern artist. By focusing on these points through the review of his work, we will inquire into

how Yunoki's expression changed throughout his career, and how it was ultimately achieved. Inquiring into the process inherent to Yunoki's work and analyzing selected work in his production helps reveal how Yunoki's unique expression—characterized by his later work that used the *katazome* dyeing technique—emerged.

Chapters outline

Chapter 1 contains a brief description of Yunoki's early life and his first connection to the Mingei movement through Soetsu Yanagi and Keisuke Serizawa. Subsequently, from the database analysis, three major periods were devised within Yunoki's production: Postwar; Travel and Printmaking; and Art and Design. The last two periods introduce the determining factors that made Yunoki move away from craft production. From each of these time periods one work was selected and analyzed. The works were selected according to how their formal characteristics helped develop Yunoki's expression.

Chapter 2, is a comparative review between Yunoki and his mentor Keisuke Serizawa describing the differences in their assumed roles that eventually led them to take separate career paths. It is followed by a section that describes the act of collecting, beginning from the Mingei movement and continuing afterwards in the careers of both individuals, examining their very different perspectives on collecting.

Chapter 3 offers insight into how Yunoki's shift to the arts brought to life his artistic language, the influence of other artists, and reflective thought that help contextualize his work in the world as a modern artist. A section of this chapter is dedicated to drawing, an activity Yunoki developed that is significant in his creative pursuit and in molding his expressive persona. Examples of Yunoki's recent *katazome* works are analyzed from a technical and artistic point of view, framed within today's developments in *katazome*.

審査結果の要旨

ロサナリオスが取り組んだのは、今年 2022 年に 100 歳を迎える柚木沙弥郎である。存命中の作家とはいえ、簡単に作家本人に話を聞けるという状況になく、先行研究もなかったため、リサーチは公になっている文献と展覧会見学のみで進められた。

彼女はまず、1948 年から 2021 年までの 70 年を超える作家活動歴を丹念に調べ上げて、膨大な全作品をほぼ網羅したデータベースを作成し、年代、ジャンル、技法、特徴など別に整理し、視覚的に明確化させることを試みた。完成したデータベースを見れば、その作業の大変さが窺える。このデータベースを作成したことで、柚木沙弥郎が民藝の染織作家からいか

にして作家本人が言うところの ”another kind of art“ の作家になっていったのか、転換点を発見し、その過程を追いかけることができたといえよう。

本論文では、第1章で柚木沙弥郎の生い立ちを入念に調べ、祖父の玉邨は南画家として活躍し、父の久汰はパリ留学も果たした洋画家であり、実家は常に文化人との交流を持ち、自身も東大で美術史を専攻するという、文化的に恵まれた背景を持つ人物だということを述べている。

柚木沙弥郎はよく知られているように、民藝の芹沢銈介門下の作家としてスタートした。時代性もあり、柳宗悦、芹沢銈介の大きな影響の下、作家としてスタートできたことは幸運だったと言えるが、しかしその影響力が大きい分だけ、そこから独自の世界を構築することの困難さも伴う。特に民藝では無名の工人となることを要求されていたことから、大きな矛盾を抱えていたことが推察される。そのことを裏付けるため、第2章では、師と仰ぐ芹沢銈介の生い立ちも調べ、柚木との比較を試みている。民藝の作家として非常に大きな存在となり、人間国宝にまでなった芹沢が最後まで染色・型染め一筋だったのに対し、柚木はある時点で一旦染色の制作を減らし、版画、ドローイング、絵本作画など他の分野の技法に展開していったことを述べ、柚木が元来文化的に豊かな背景を持っていたことが、芹沢の歩みとは異なって、自由に作風を展開できたことのベースにあったのではないかと論じている。

第3章では、本論文のテーマである柚木沙弥郎が民藝の作家からモダンアーティストになっていった過程を追いかけて、その理由を、視覚的には上記のデータベース、哲学的にはウンベルト・エーコのテーゼ、他の作家からの影響力としてはズブニェクセカルの影響、版画やドローイングなど型染め以外の技法からの影響、民藝の作家も行ったコレクションという手法、そして村山亜土に依頼された『夜の絵』という作品の、計六つの事柄を中心に上げて考察している。

柚木の長い作家人生もあって簡単に要約できるようなものではなかったため、筆者は地道に柚木沙弥郎のたどった制作の道筋を検証し、一つずつ丁寧に解き明かしていった。この過程は十分に興味深い内容となっており、この論文の大きな魅力となっている。審査会でも評価された点である。

特に、ギャラリー・トムを開いた村山亜土からの依頼で制作した『夜の絵』が、後の抽象的な型染め作品の先駆けとなったと示唆している点は、筆者自身が制作する側であることから導かれたとも言え、興味深い視点と言えるだろう。このギャラリー・トムを運営していた村山夫妻は、後にズブニェクセカルの作品を柚木に紹介したこともあり、柚木にとって非常に重要な存在だったことを論証している。

筆者自身も含めて、型染に限らず工芸の技法で表現することから始めて、現代のボーダーレスな表現を志す作家にとって、柚木沙弥郎を論じることは、大きな意味を持っている。今後より活発な柚木論が展開されることを期待しつつ、先駆的研究となった事を評価したい。また、直接の関係はないが、ベネズエラからの留学生である彼女が論じることで、柚木沙弥郎作品の国際性も実証される結果となった。

様々指摘を受けた点もあるが、大筋変更を要求されるようなものではなく、全員一致で博士号に値すると判断できた。